07-221-1201

オタリア®
ビオビオⅡ
取扱説明書

OTARIA® BIOBIOⅡ OWNER'S MANUAL

OTARIA
PRODUCED BY mont-bell

警告

CAUTION

カヌー（パドルスポーツ）は、場合によっては使用者や周囲の人を危険に陥れたり、死傷事故を誘発する可能性のあるスポーツです。カヌーまたはそれに係わる製品を使用する方は、傷害を負ったり、死亡する場合もあり得ることを理解しておかなければなりません。また、事故を防止するためにも、製品を使用する前には必ず取り扱い説明書を熟読し、その指示に従ってください。

カヌー（パドルスポーツ）を行う際は以下の安全項目を必ず守るようにしてください。

○使用する前にこのモデルに合わせたカヌー（パドルスポーツ）レッスンを受けてください。

○一人でカヌー（パドルスポーツ）をしないでください。

○必ず、ライフジャケット（救命胴衣、フローティングベスト）を着用してください。

○救急処置法と救急訓練を常に心掛け、それに必要な救急箱・救急道具等を携行してください。

○水温・気温が低い場合や身体を濡らしたまま放置した場合は、危険な低体温症を起こす恐れがあります。天候に合わせた服装をしてください。

○毎回使用前には用具を点検し、摩耗や故障の予兆がない事を確認してください。

○水かさが増している時のような悪条件下では使用しないでください。

○水量、水位、干満、潮流、天候の変化に注意してください。

○見知らぬ場所、不確かな場合では事前に調査してください。

○自分の能力以上の行動は謹んでください。

○健康に問題のある方は、カヌー（パドルスポーツ）を始める前に医師にご相談ください。

○飲酒や心身に影響を及ぼす薬品・薬物を使用してカヌー（パドルスポーツ）を行わないでください。

○乗艇・脱艇の妨げになる様な改造・艤装・積載をさけてください。

はじめに

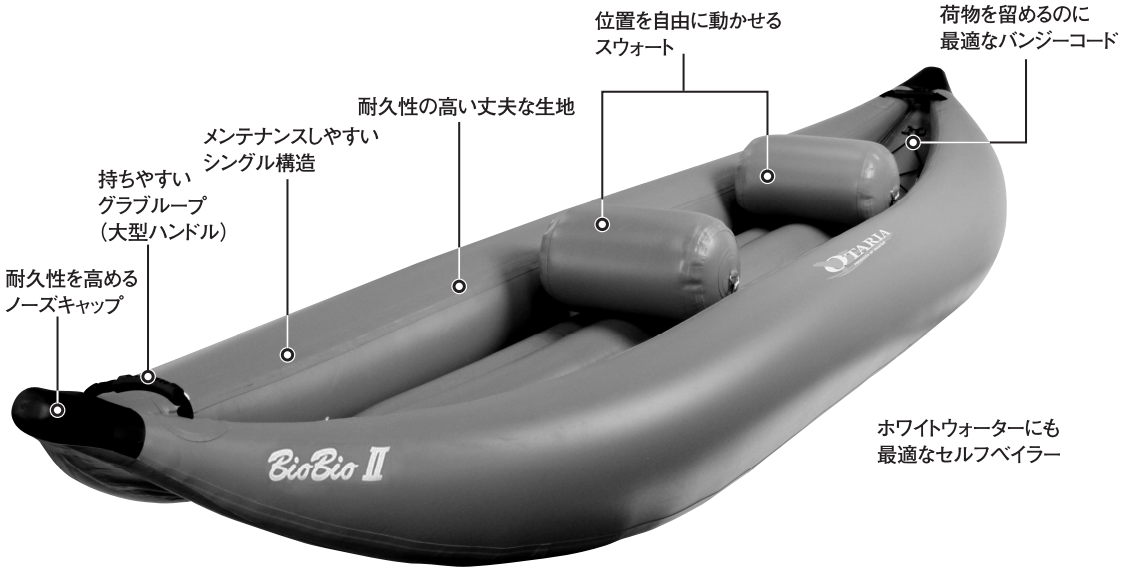
このたびは、オタリア「ビオビオⅡ」をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。
本取扱説明書は、「ビオビオⅡ」を正しくご使用いただくために必要な事がらや、取り扱い上でご注意いただく点について説明しています。「ビオビオⅡ」をご使用になる前に必ずお読みください。
お読み頂いた後もお手元に大切に保管してください。

＜目次＞

1 概要
2 ご使用上の注意
3 組み立て方法
4 収納方法
5 仕様、その他
6 アフターケア
7 修理依頼書

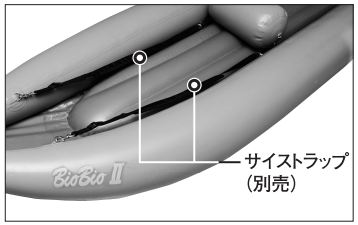
1. 概要

○「ビオビオⅡ」はエアポンプだけで簡単に組み立てることができるインフレータブルカヤックです。
○「ビオビオⅡ」は耐久性に優れた高強力ポリエステル ハードターポリンを使用しています。



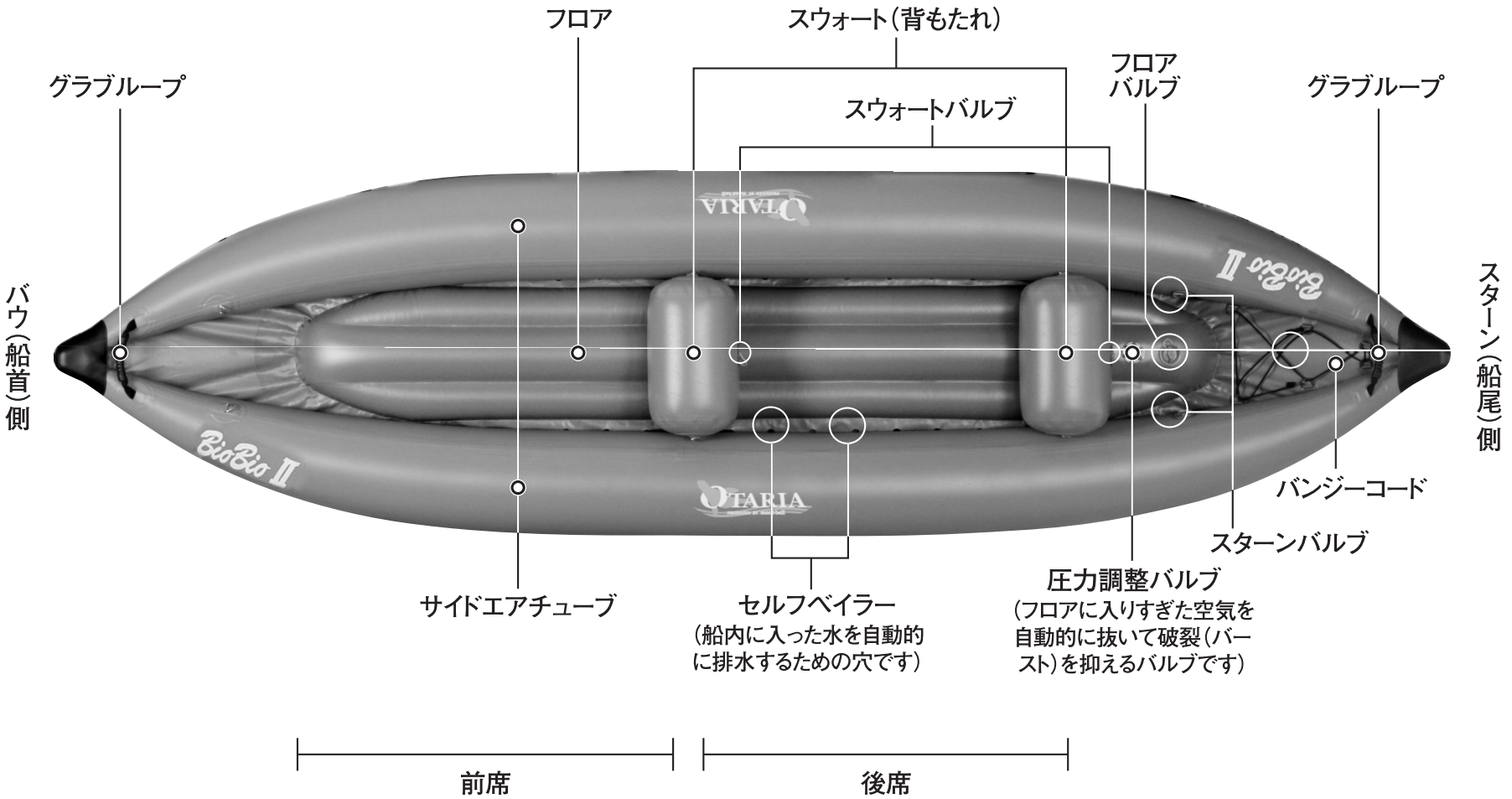
大容量のダブルアクションポンプが
付属しているので短時間で組み立てできます。

ポンプやパドルも同梱できる
キャリングダッフルが付属します。



別売のサイストラップを装着することで
艇との一体感が高くなります。

ビオビオII名称


フロア
スウォート（背もたれ）
グラブループ
フロア
バルブ
スウォートバルブ
グラブループ
バウ（船首）側
スターン（船尾）側
バンジーコード
スターンバルブ
サイドエアチューブ
セルフベイラー
（船内に入った水を自動的
に排水するための穴です）
圧力調整バルブ
（フロアに入りすぎた空気を
自動的に抜いて破裂（バー
スト）を抑えるバルブです）
前席
後席

2. ご使用上の注意

○「ビオビオⅡ」に乗るときは安全を心がけ必ずライフジャケット（救命胴衣、フローティングベスト）を正しく着用してください。ヘルメットは常に携帯し沈（横転）した時などに岩等で頭をぶつける危険性のある場所では必ず着用してください。また装備には必ず名前、連絡先を記入してください。

○沿岸では、潮の干満や潮流のはやさも十分に考慮してください。湖、大河、沿岸等で使用する際、気象の変化により、思いもよらぬ突風、強風が吹く場合があります。人力に頼っているカヤックの特性をよく理解し、無理せず安全にお使いください。

○磨耗や破れ、故障やその兆候などがないか、ご使用前には機材の点検は入念に行ってください。

○「ビオビオⅡ」に荷物を積む場合は、艇の安定、操作性が損なわれない程度の量とバランスをよく考えて積んでください。一般的に、静水時にフロアが水没する程積載するのは危険ですのでおやめください。

個人情報の取り扱いについて

〈個人情報の内容〉
モンベルグループ各社がお客様より収集している個人情報は次の通りです。
●お名前・ご住所・お電話番号・生年月日・性別・メールアドレス等
当社およびモンベルグループ各社では、個人情報は以下に述べる利用目的の場合にのみお客様より収集、利用させていただき、外部業務代行業者および下記例外を除き第三者に開示あるいは提供することはありません。

〈利用目的〉
●イベント等案内のダイレクトメール発送　●希望されたお客様に対するメールマガジン配信
●サービス向上のためのアンケート調査　●その他業務上必要と判断した際の連絡、発送

〈外部業務代行業者等〉
当社およびモンベルグループ各社では、業務上必要な最低限の個人情報を外部業務代行者に提供する場合があります。それらの外部業務代行業者等に対しては、個人情報の適切かつ安全な管理を義務づけております。

〈個人情報の第三者への非開示・非提供〉
お客様からご提供いただきました個人情報は、上記利用目的の場合、外部業務代行業者等に提供する場合を除いては第三者に開示または提供いたしません。

【お問い合わせ窓口】
株式会社モンベル 本社/大阪市西区新町2-2-2
カスタマー・サービス　TEL.06-6531-3544　フリーコール: 0088-22-0031　ホームページ　http://www.montbell.jp

3. 組み立て方法

ご使用になる前に

○梱包内容の確認
梱包箱を開けたらまず、付属品などの梱包内容がすべて揃っていることをご確認ください。
製造にあたっては、万全の注意を払っておりますが、万一、梱包内容が不足していたり、損傷しているものがある場合は、お買い上げの販売代理店もしくは当社までご連絡下さいますようお願いいたします。

ビオビオⅡ梱包内容

・本体
・スウォート（本体に取り付けられています）×2個
・キャリングダッフル150ℓ×1個　・エアポンプ×1個
・リペアセット×1式（ブルー1枚・グレー1枚）　・取扱説明書×1冊　・オーナー登録カード×1枚

○オーナー登録カードは、「ビオビオⅡ」をご使用になるお客様にサポートを行う際の資料とさせていただきます。お手数でも必要事項をご記入の上、当社までご返送ください。

(1) パーツ類のチェック

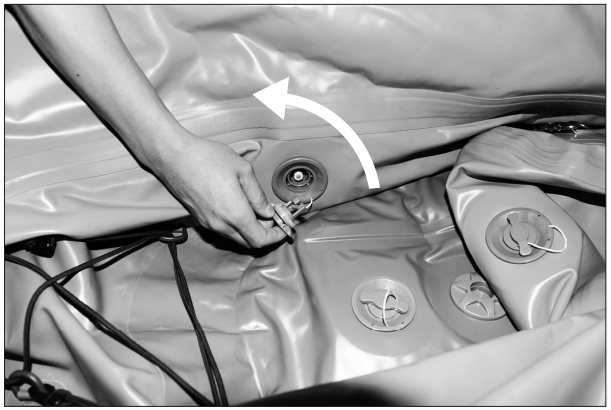
組み立て前に付属品などの内容がすべて揃っているか確認してください。

(2) サイドチューブに空気を入れる

本体を広げる

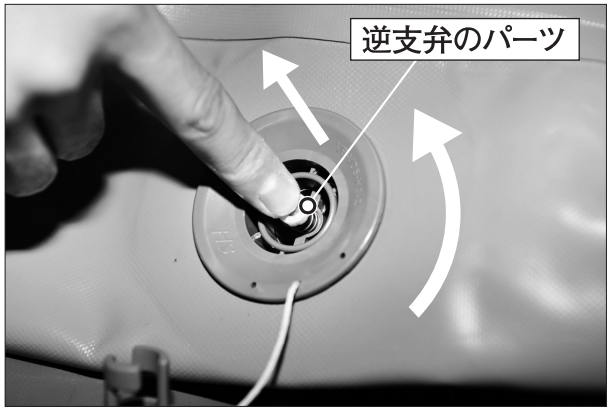
空気を入れやすいように艇本体を広げます。

バルブの蓋を開ける



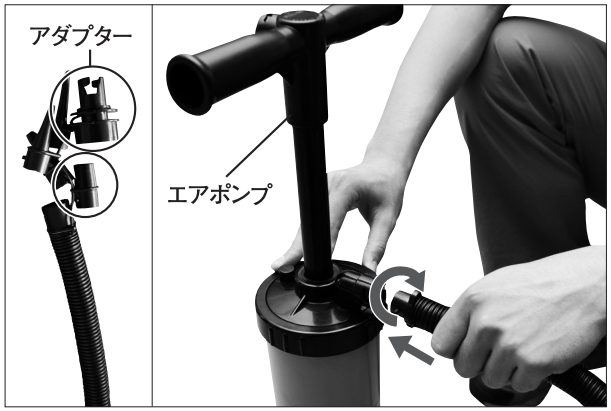
艇本体のスターン（船尾）側にあるスターンバルブの蓋を反時計回りにまわして開けます。

バルブの逆支弁を効かせる



バルブ内の中央にある逆支弁のパーツを押しながら矢印の方向に回すと中央のパーツが立ちあがり弁が効きます。（艇本体の外側から内側への一方向しか空気が通らなくなります。）

エアポンプを組み立てる



本体のバルブに合うエアポンプのアダプター（上図の○印）を選び、エアポンプのチューブに装着します。さらにチューブをエアポンプ本体へ図のように装着します。（上図○印のパーツ以外のアダプターは使用しません）

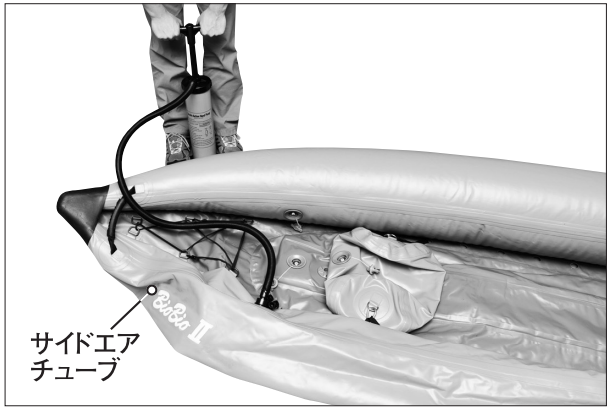
エアポンプのアダプターを本体のバルブに付ける

本体のスターンバルブにエアポンプのアダプター（○印のパーツを使用）を装着します。抜け防止のため時計方向に回すことでアダプターを固定できます。

エアポンプから空気を入れる

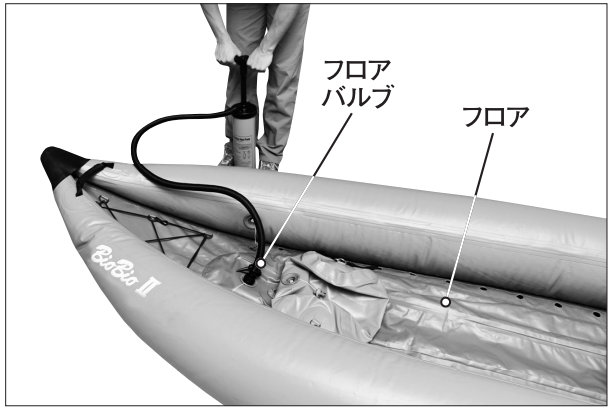
エアポンプを上下に動かし、艇本体に空気をある程度（約8～9割）入れます。（上下どちらに動かしても空気が入ります。）このときに空気を完全に入れないでください。

(3)反対側のサイドチューブに空気を入れる



(2)と同様に反対側のサイドチューブに空気を入れます。

(4)フロアに空気を入れる



フロアバルブからフロアに空気を入れます。（バルブなどはサイドチューブと同じ構造です）

※フロアにはバースト（破裂）防止のための自動圧力調整弁が付いています。一定以上の空気を入れると弁が自動的に入りすぎている空気を抜きます。自動圧力調整弁から空気が抜けるまで空気を入れてください。

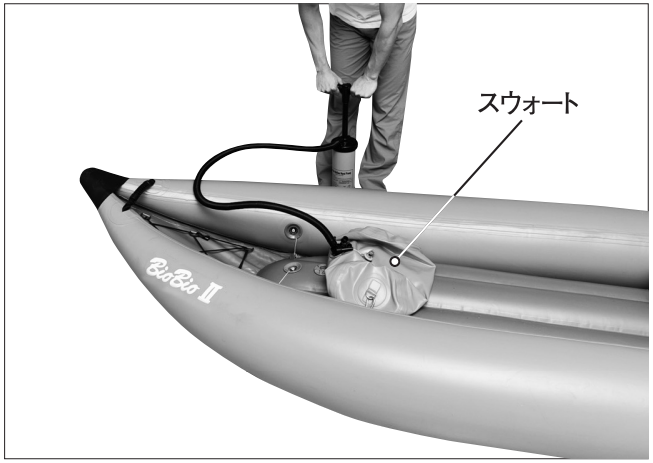
(5) 全体の空気の量を調整する

ある程度空気が入った左右のサイドチューブに均等になるように交互に空気を入れます。目安としては、艇本体のシワが伸び、体重をのせて片手で押した時に1～2cmしずむ程度、艇本体を押したときに硬く感じられる程度です。

⚠注意

◯空気が少ないと艇本体が適切に膨らまないだけでなく、艇本体の剛性が落ち、漕行するのに危険な状態になります。
◯左右の空気の量が違うと真っ直ぐ進まなくなります。
◯空気を入れすぎると太陽光などでさらに空気が膨張しバースト（破裂）することがあります。

(6) スウォートに空気を入れる



前後のスウォートにスウォートバルブから空気を入れます。（バルブなどはサイドチューブと同じ構造です）

⚠注意 スウォートは艇本体の剛性を保つための重要なパーツです。必ず適切に膨らませてください。

(7) バルブの蓋を締める

全てのバルブの蓋（スターンバルブ2箇所、フロアバルブ1箇所、スウォートバルブ2箇所）を時計まわりに締めます。

⚠ 注意

バルブの蓋は必ず閉めて使用してください。蓋を開けたまま使用するとバルブ内に水や、砂などの異物が入りバルブの機能を低下させる原因になります。

⚠ 注意

空気で膨らましているインフレータブルカヤックは水温や気温の変化によって膨張、収縮します。使用中は常に艇全体の張り具合を確認していただき、必要に応じてバルブから空気を抜くか、エアポンプで空気を足してください。

以下のような状況では特に注意してください。

○気温が高く水温が低い場合。（水に浮かべてある程度した後に必要に応じて空気を足してください。）

○水から艇を引き上げ、陸上で直射日光にさらしている場合。（休憩時などは確実に艇を陸に係留し、全部か艇の半分以上を水に浮かべてください。陸上に引き上げる場合は、バルブを開け、あらかじめ空気を抜いてください）

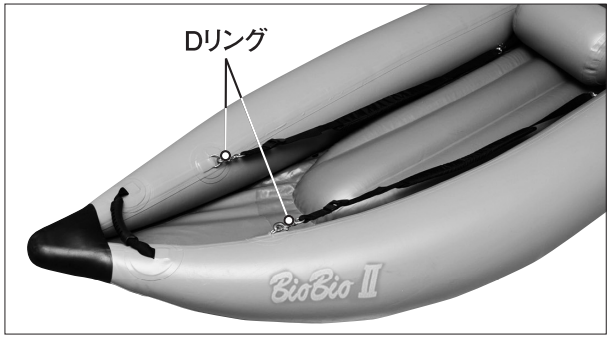
○エアコンプレッサー、二酸化炭素ボンベ、高圧圧縮空気などは使用しないでください。

(8) 完成

※サイストラップ（別売）の取り付け方法

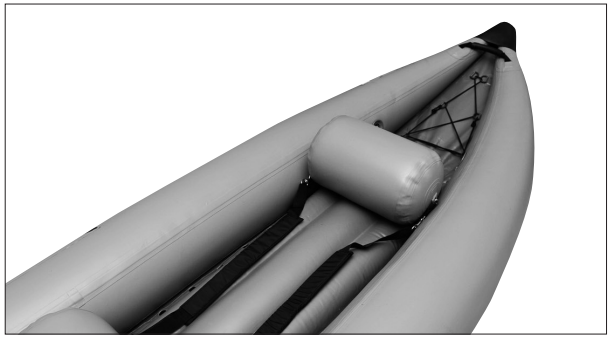
本製品には、艇本体とパドラーの一体感を高めるために別売のサイストラップを取り付けることが出来ます。
ホワイトウォーターなどで使用される際は装着されることをお勧めします。

■前席



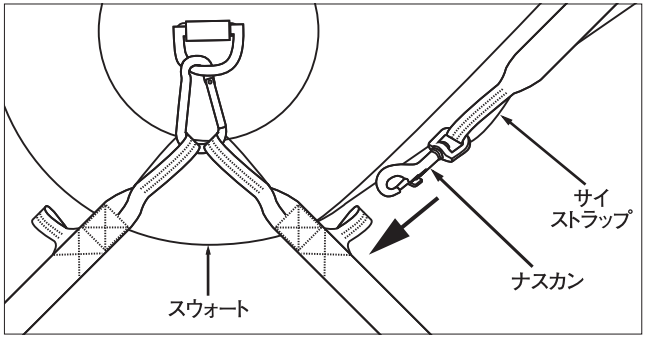
後ろ側は前席のスウォートを取り付けているテープにサイストラップのナスカンを取り付けます（図A）。
サイストラップ前側は、バウ（船首）側のDリングにサイストラップのナスカンを取り付けます。

■後席



前後のスウォートを取り付けているテープにサイストラップのナスカンを取り付けます（図A）。

図A



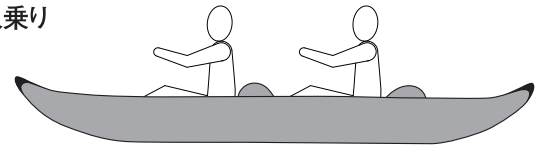
※スウォート位置の変更方法

本製品は、大人2人が乗れるように設計されていますが、搭乗者の体格や荷物の有無などによりスウォートの位置を変更することでスウォートの間隔を変更することが出来ます。また、スウォートを1つ取り外し1人乗りにすることもできます。

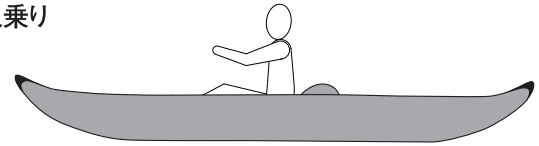
⚠ 注意

全てのスウォートを取り外して使用しないでください。
スウォートは艇の剛性を保つのに必要不可欠なパーツです。

2人乗り

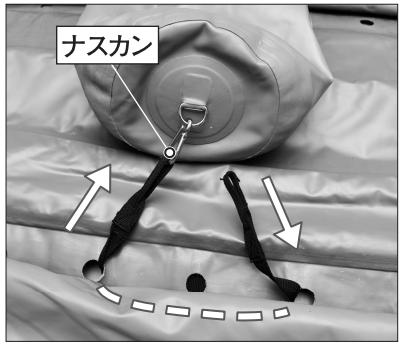


1人乗り



※スウォートの位置は荷物の量に合わせて設定してください。
（静水に浮かべて前後が水平になるようにしてください。）

スウォートと艇本体の空気が抜けている状態で作業をします。



艇本体のセルフベイラーの穴とスウォートを取り付けているテープのナスカンを外しスウォートを外します。

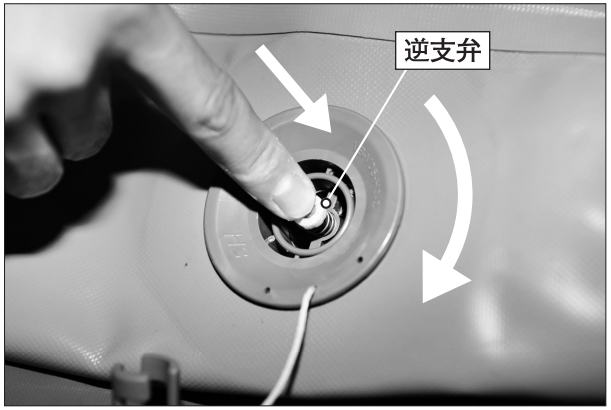
移動したい位置にテープを通してテープとスウォートをナスカンで固定します。（穴をひとつ飛ばして通してください。）

4.収納方法

バルブの蓋を開ける

艇本体の全てのバルブ（サイドチューブ　2箇所、フロアバルブ1箇所、スウォートバルブ2箇所）の蓋を開けます。

バルブの逆支弁を緩める

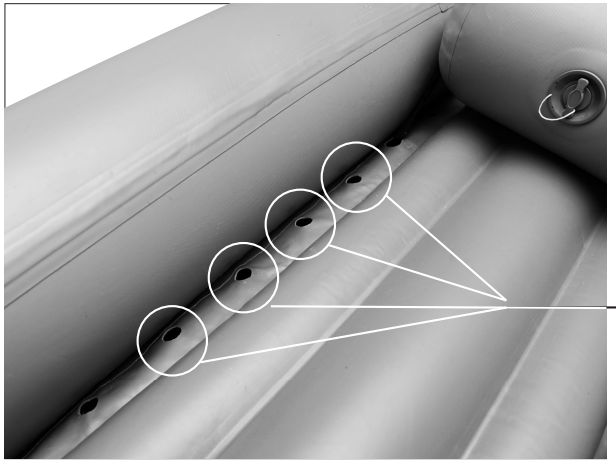


バルブ内の中央にある逆支弁のパーツを押しながら矢印の方向に回すと中央のパーツが下がり弁が効かなくなります。（双方向から空気が通ります）

艇本体を畳む

バルブが付いている部分と反対側（バウ側）から空気を抜くようにして艇本体をたたみます。その際、畳み幅をキャリングダッフルの幅より少し狭く畳むとキャリングダッフルに収納しやすくなります。

※セルフベイラー（自動排水穴）について



本製品には艇に入った水を自動的に排水をする穴（セルフベイラー）がサイドチューブとフロアの間に空いています。この仕組みは艇本体の浮力を利用したものです。搭乗者や荷物の荷重によっては座面の一部が常に水が浸った状態になります。

5.仕様・その他

修理及びパーツリストについて

●モンベルでは品質管理に万全を期しておりますが、万一不良が生じた場合、お買い求めの販売店を通してご返送ください。無償修理、もしくは交換させていただきます。ただし間違ったご使用や、製品不良以外の原因による故障につきましては有償修理となります。

株式会社 モンベル
本　社　〒550-0013 大阪市西区新町 2-2-2
商品についてのお問い合わせはカスタマー・サービスまで
Tel. 06-6531-3544　フリーコール：　0088-22-0031
モンベルホームページ　http://www.montbell.jp

仕様

品番	2341036
商品名	ビオビオⅡ
全長	380cm
全幅	105cm
重量	18kg（総重量20kg）
収納サイズ	92cm×37cm×27cm

・サイストラップなどの別売アクセサリーをご用意しております。
詳しくは、カタログかホームページをご覧ください。

6.アフターケア

船体布について

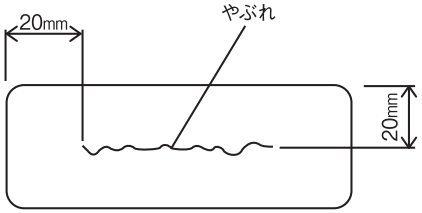
○船体布の汚れは、スポンジやブラシ等で水洗いします。スチールたわし等は船体布が傷つきますので使用しないようにしてください。またシンナー等の溶剤は船体布を侵しますので使用しないようにしてください。洗浄後は十分に乾燥させてから収納してください。乾燥が不十分な場合カビが発生する恐れがあります。また船体布にシリコンが含まれる保護艶出し剤を塗布すると修理用ボンドが接着できなくなりますので使用しないようにしてください。

○市販のガムテープをリペアクロス代わりに使用し長時間放置すると、船体布にガムテープの接着剤が残り取れなくなることがあります。溶剤等で無理に剥がすと船体布を傷め場合によっては修理不可能になる場合がありますのでご注意ください。

船体布の修理方法

○接着剤は別売の「#2351919 アルフェックリペアボンド」を使用してください。それ以外のボンドでは必要な強度が得られません。

1.大きな破れの場合



作業手順

①リペアをしようとする面の土、ゴミ、油等の汚れをウエスやベンジンで落としておきます。シンナーは船体布を痛めるので使用しないでください。

②船体布側の接着面をサンドペーパー#100（お客様でご用意していただくか別売の#2351924　オタリアリペアセットに付属しています）で研磨して荒らします。その後もう一度ベンジンを含ませたウエスで油分を取り除きます。

③船体布の穴、亀裂の大きさにあわせて付属のリペアクロスをカットします。大きさは穴、キズに対して＋20mm程度を目安にします（右図参照）。角はまるめた方がより剥がれにくくなります。

④リペアクロスの接着面をサンドペーパー#100で研磨して荒らしてベンジンで油分を取り除きます。

⑤リペアクロスの大きさより5mm程度大きく船体側をマスキングテープで囲います。

⑥ボンドを船体布とリペアクロスに均一に塗布します。手にべとつかない程度乾燥させてからさらにもう一度、均一に塗布します。

⑦もう一度、手にべとつかない程度乾燥させてから強く貼りあわせます。ゴムハンマー等でたたくとより効果的です。

⑧接着後、約30分程度で実用接着強度が得られますが、12時間は放置乾燥させてください。圧着し終えてからマスキングテープをはがします。

※接着剤の取扱いは接着剤に付属の説明書をお読みください。

2.ピンホール（針穴）の場合

目視できるような破れがないにも関わらす緩やかに空気が抜ける場合はごく小さなピンホール（針穴）が開いている可能性があります。（針穴が開いていなくても温度変化により艇本体の空気が収縮する場合もあります。）

作業手順

① 空気を入れ、空気の漏れる音が出ていないかチェックしてください。

② 穴を発見出来たら「1.大きな破れの場合」と同じ要領で修理します。

③ それでも穴が目視できない場合は、石鹸水をスプレーするか、石鹸水を含んだスポンジで艇本体を拭き気泡が出ている場所を特定します。

④ 穴を発見出来たら、石鹸水を完全に取り除き、「1.大きな破れの場合」と同じ要領で修理します。

注意事項

○バウやスターンなどの先端付近などリペアクロスがなじみにくい部分は、接着後ガムテープでリペアクロスを3時間程度押さえておきます。

○屋外で作業をする場合、船体布の温度の上がらない日陰での作業をおすすめします。ボンドの温度が上がりすぎるとすぐに乾いてしまい作業しにくくなります。

オタリア　インフレータブル・カヤック
修理依頼書

フリガナ 氏名（または販売店名）	修理依頼日
〒　　ー 住所	電話番号
品名	製造番号 Serial No.
商品購入先	
納品希望先住所	
請求書希望送付先	
※修理費用（基本料金・材料代・工賃・その他）の他に、送料自己負担となります。 ※簡単な図を描いて修理希望内容を明記してください。	
※使用日数　　約　　日 ※破損時の状況	※主な使用場所　　川・湖・海
	希望納期日

このシートはコピーしてお使いください